

行仙宿迎春準備作業（NHK取材同行）

◇実施日：2019年12月22日（日） 曇り後ミゾレ

◇参加者：沖崎吉信、児嶋道夫、大江加予子・畑林清子、濱野兼吉、

生熊敏男・千満子、中前偉、谷口昇、高階美根子、奥村

順夫、竹中卓治、山川治雄、岩本信行、志岐敬、梶野照

雄、絹川千晴（NHK和歌山放送局南紀新宮支局記者）

17名

いよいよ令和元年最後の行事である。二カ月ほど前にNHKの齋藤基樹君から電話があつて、新宮支局勤務の絹川がそちらにお伺いするので、何か情報提供をお願いしたいとのことだった。

その後、2回にわたって山彦の活動や行事予定をお話しし、今回の行仙宿迎春準備を同行取材されることになった。

事前に御供やお正月用品を準備、16人の皆さんから参加申し出を頂いた。当日の天気予報は午後から雨となっていたが、12月下旬なので順延も難しいため、前日に、雨天決行とメールを送った。

山川さんは、水場のしめ縄交換の際の足場を作るため、岩本さんと二人で先行された。

9時前に役場駐車場に、山川、岩本の2名を除く15名が集まり、登山口に移動する。登山口で、絹川さんを紹介した後、モノレールに荷物やザックを積み込んでスタート。途中で登山口水場のしめ縄を交換、川島急逝現場では中前君がありがたいお経を唱えてくれた。



モノレールに荷物を



登山口の水場、しめ縄交換



第2ベンチの上方からは、各々が伐採された木を手にして小屋へ向かい、20本近くの木を小屋迄運んだ。10時半前後に小屋に着く。



川島前代表の慰霊



行仙宿に到着



完成した水場の足場

山川、岩本のお二人は水場での作業をすでに終えて小屋に戻って  
いて、山川さんはチェーンソーで薪造り、岩本さんは小屋周りの清  
掃をされた。水場での作業は、ハンマードリルで岩に2ヶ所の穴を  
あけてアンカーボルトを打ち込み、垂木をステンレス線でボルトに  
縛り付けた。借用したプロ仕様の充電式のハンマードリルを使った  
が、岩が硬くて、ドリルの先端が真っ赤になるほどだったという。



しめ縄も交換

窓ガラスの拭き取り

玄関にしめ飾り

水場のしめ縄交換は、川島さんと二人で作業したことがあるが、  
足元の岩が滑りやすく、ここで滑ったら下に落ちて大変なことにな  
る、いつもヒヤヒヤしながら取り替えるのが毎年であった、山川  
さんも足場確保の必要性を感じられていたので、今回の作業となっ  
たが、これで不安要因が一つ取り除かれ、安全確保上の大きな一歩  
だった。

昼食までにお正月の飾りつけや掃除を終えたいと作業に着手。特  
別に指示をする事も無く、各自が何をするべきか判っている。雨水

槽を空にする者、内側からと外側からの窓拭き、お堂の清掃と御供  
の取替、トイレの汲み出し、小屋玄関にしめ縄取付、小屋内に正月  
飾り、小屋内外の清掃と手際よく作業が進み、一時間と少々で予定  
していた事項を終えることができた。NHKの絹川さんは、カメラ  
を持って道中、前へまわったり、後ろに行ったり、また水場のしめ  
縄交換にも同行された。水場のしめ縄交換班からの報告では、水流  
は全く無く、完全に涸れているようだ。  
雨を心配していたが、なんとかここまで持っている。降られずに  
済みそうだ。



本日の参加者

行仙岳に点名標識設置

斜木を切除

昼食後、NHKの絹川さんも含めた7人が行仙岳に向かった。山  
頂に三角点名を記した標識を設置する。行仙岳山頂にある三角点の  
点名が「大峰山」となっていることが以前より気になっていて、い  
つの日にか点名を記載した標識を設置したいと思っていたが、本日  
やっと設置することができた。行仙岳山頂から、少し雲がかかった

釈迦ヶ岳や孔雀岳が望まれ、大日岳付近までは真っ白になっている。小屋迄の帰路、奥駈道に異常は無く、斜木3本をノコで切除したとの報告があった。

三等三角点は明治20〜30年にかけて設置されたが、行仙岳の三角点名がなぜ大峰山となっているか興味がある。

なお、点名では、山上ヶ岳が「大峰山上」、大峰山脈から離れているが、熊野市紀和町にある一族山が「大峰」となっている。

行仙岳班が戻って午後2時前から小雨が降り出し、すぐにミズレに変わった。火元と戸締りを確認して下山開始。管理棟を整理して出た賞味期限が近いビールと非常食、ソーラー発電の正常化で不要になったバッテリー一個を持ち降ろした。下山途中、中前、谷口、志岐、竹中の4名は「川島橋」に立ち寄り登山口に戻った。



行者堂で勤行

沖崎代表インタビュー

下山

NHKの放送は翌23日の夕方6時半からの「ギョギョつと和歌山」と8時45分の和歌山ニュースで二度放送された。何人かの方

から「見たよ」「いつもご苦労さん」と電話やメールを頂き、かなりの人の目にとまっていると感じた。

今回初めて参加された谷口昇さん(61歳)は我々の活動にも関心を持っていただいております、今後も参加いただけるように期待している。

今年1月3日の白猪山(第2005回)に始まり、今日の行事(第2061回)まで、57回の行事を重ねてきた。

今年の行事の中で特筆すべきは、何といたっても、川島前代表が行仙宿登山口付近で急逝する重大事態が起こったことである。あつてはならぬ事である。皆さん健康維持に努め、今後決して無理せず、安全第一で臨むようお願いしたい。

(記：沖崎。写真：梶野)

#### 行動タイム

登山口09：28→10：30行仙宿→10：48水場→11：20行仙宿12：40  
→10：55行仙岳→13：40行仙宿14：00→14：30登山口